

授業科目 基礎理学療法学原論

理学療法学科
専門

【担当教員名】 高木昭輝、黒川幸雄	対象学年	1	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

<一般目標：G I O>

理学療法法の基礎となる概念・基礎知識を各論的に学習する。

理学療法が関わっている領域について学習する。

<行動目標：S B O>

- 1 理学療法士の働く領域について、医療機関、介護施設、在宅訪問、福祉・行政、スポーツの区分で概要を説明することができる。
- 2 理学療法法の検査測定評価方法について、概要を説明することができる。
- 3 自立して生活し働いている障害者の例を通して、機能・構造、活動、参加、環境因子の区分で障害像を述べるができる。
- 4 理学療法法の各種治療方法とその基礎理論・概念について、運動療法、物理療法、ADL練習、義肢・装具の区分で概要を説明できる。
- 5 臨床実習などで患者さんを担当する際のリスク管理、感染予防について、基本的知識を身につける。
- 6 記録、報告書作成のための技能を応用することができる。
- 7 自己の将来計画を見直し、今後の課題を明確に述べるができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション、「理学療法士の働く領域」	1	講義
2	「検査測定評価」、記録と報告	2、6	講義と演習
3	「障害像」のとらえ方	3	講義と演習
4	「障害像」の表現方法（ICFを用いて）	3、6	講義と演習
5	治療方法 ①「運動療法」 ②「物理療法」	4	講義
6	治療方法 ③「ADL練習」 ④「義肢・装具」	4	講義
7	「リスク管理、感染予防」	5	講義と演習
8	「医療機関」における理学療法	1	講義
9	「介護施設」における理学療法	1	講義
10	「在宅訪問」における理学療法	1	講義
11	「福祉・行政」における理学療法	1	講義
12	「スポーツ分野」における理学療法	1	講義
13	アンケート・自己評価、「私の今後の課題」、まとめ	7	討議、発表

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	「理学療法概論 第4版」	奈良勲編	医歯薬出版	2002年 5,850円＋税
	「理学療法白書 2002」	日本理学療法士協会編		2002年 1,000円
	「医学大辞典」	伊藤正男、井村裕夫、高久史磨編	医学書院	2004年 21,000円（税込）
参考書	「理学療法概論 第4版」	理学療法科学会監修/丸山仁司編	アイベック	2002年・3,500円（税込）
その他の資料	印刷教材を随時配布			

【評価方法】 出席、小テスト、課題提出物、 期末試験、以上の総合評価	【履修上の留意点】
--	-----------